
2025年はWebセキュリティを強化！

あの企業も成功させた

「AI活用による **脆弱性診断** の内製化」とは

登壇者紹介



株式会社エーアイセキュリティラボ

事業企画部 ディレクター **阿部 一真** (あべ かずま)

新卒でNTTデータに入社し、Salesforceビジネス推進部門でコンサルティングセールス・カスタマーサクセスを経験。

その後、AIベンチャー企業・SaaSスタートアップ企業にてCS責任者およびプロダクトマネージャー・事業統括責任者を歴任し、エーアイセキュリティラボに入社。

現在はCXチームでの活動に加え、新規プロダクト企画・海外事業展開など全社横断プロジェクトにも携わる。

あらたな答えを、つぎつぎと。

変化の激しいサイバーセキュリティの世界。

私たちは、未知の課題が生まれるたび、培った知見と経験・実績をもとに、「あらたな答え」を世の中に提供し続けていきます。

世界も驚くような、技術の力で。

そして、サイバーセキュリティの進化を通して、人は、人にしかできない、創造性を活かした仕事に注力できる、社会の進化にも貢献していきます。

**「脆弱性診断」
どうされていますか？**

脆弱性の対策、どうされていますか？

脆弱性の対策が必要な領域

外部に
委託する

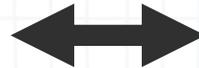
自分たちで
なんとかする

できていない
やってない

「脆弱性診断」界隈で「よく聞くお悩み」

予算が限られている

人員も限られている



対策すべき範囲 **増**

必要な対策の幅 **増**

特に「DX」の進展によるデジタル接点の増加が「悩み」を深める



公開するWebサイトや
提供するWebサービス
が増えている



開発規模・サイト規模
が大きくなっている
(100画面以上ある)



機能改修・追加など
リリース頻度が高く
間隔も短くなっている



| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ対策が必要な領域

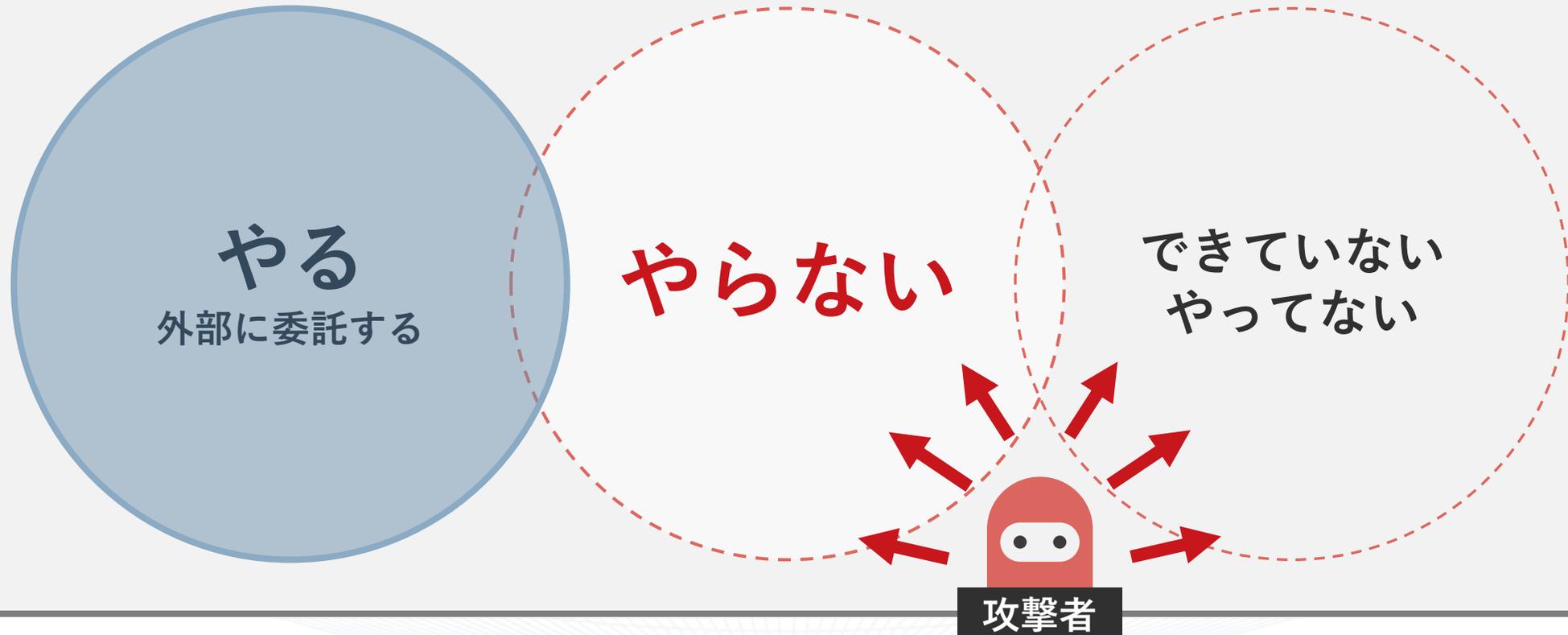
外部に
委託する

自分たちで
なんとかする

できていない
やってない

| 実際には、やるか・やらないか、の2択になっているケースも多い

セキュリティ対策が必要な領域



**「脆弱性診断」を内製化することで
なんとかできないか…？**

脆弱性診断を自動化・内製化するときを考えること

「内製化できればいいんだけどな…」



?

診断の品質を維持
できるだろうか？

?

コスト(費用・時間)
を抑えられるか？

?

社内メンバーで対応
できるだろうか？

脆弱性診断を自動化・内製化するときを考えること

？

診断の品質を維持
できるだろうか？

？

コスト(費用・時間)
を抑えられるか？

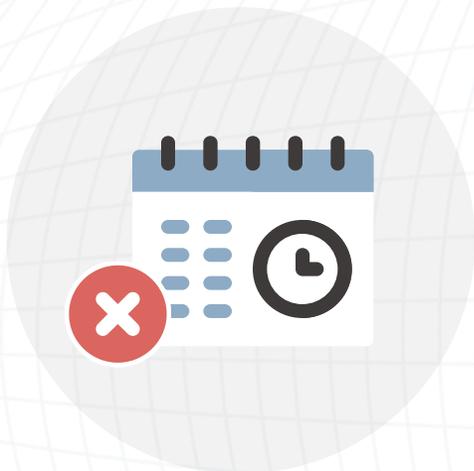
？

社内メンバーで対応
できるだろうか？

+

事業部門・開発部門に内製化の協力を得られるか？

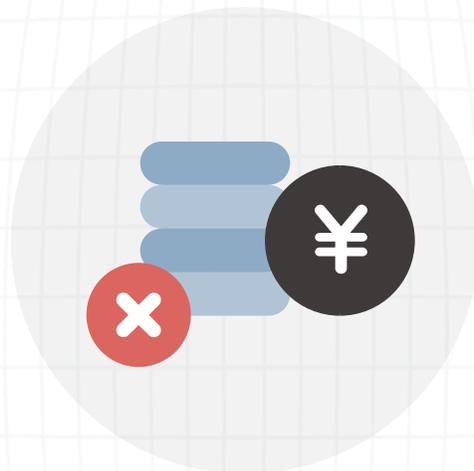
実際に事業部門と向き合う中で直面する「壁」



課題 1

稼働を割きたくない

診断に時間を取られたくない
スケジュール調整したくない
なるべく対応したくない



課題 2

コストをかけたくない

計画にセキュリティコストを含めていない
診断環境を用意したくない



課題 3

セキュリティ意識が低い

診断とは何をするものなのかがわからない
セキュリティを意識しようと思っていない

| 脆弱性診断の自動化・内製化に必要な要素とは？

① 脆弱性診断のプロセスに
事業部門を巻き込む

② AIを活用した脆弱性診断
ツールの導入

脆弱性診断の自動化・内製化に必要な要素とは？

① 脆弱性診断のプロセスに事業部門を巻き込む

事業部門とセキュリティ部門と一緒に脆弱性診断を行うことのメリットを訴求

早期に脆弱性を発見することで
開発終盤での手戻りを最小化できる
(シフトレフト)

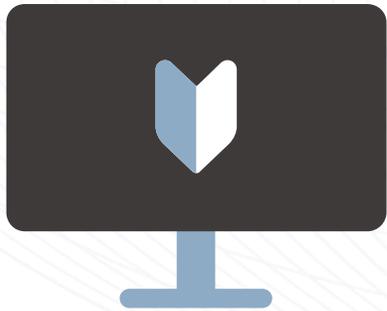
業務やサービス仕様に詳しいチームが
診断に参加することで
診断の精度・網羅性が上がりやすい

脆弱性診断の自動化・内製化に必要な要素とは？

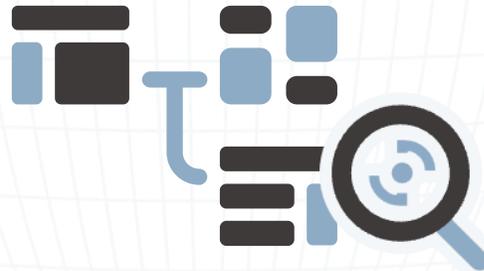
② 脆弱性診断ツールの導入

事業部門を巻き込む前提で考えた場合、ツール選定に必要なポイントは…

1 誰でも使える操作性



2 利用範囲に制限がない



3 結果がわかりやすい

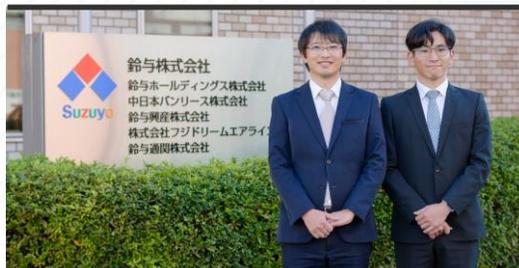




AeyeScan なら
内製化できるんです！

導入事例紹介

鈴与様



企業名 鈴与株式会社

事業内容 総合物流事業

従業員数 1,146人 (2024年8月31日時点)

課題

外部ベンダーに診断を依頼していたが、対象となるWebシステムが増えるほどコストと時間がボトルネックに

具体的な課題

- 1 社外向けWebシステムの開発が増え、診断にかかるコストが膨らんでいた
- 2 外部ベンダーに依頼すると、見積もりや契約だけで1か月かかるなど、時間を要してしまう
- 3 コスト・時間の制約から頻度高く診断を行うことができない

これまで社内向け業務システムの開発が中心だったが、物流データを活用した新たな価値提供を推進するため、社外向けWebシステムを積極的に開発する方針へ転換。しかし、診断にかかるコストと時間がボトルネックになっていた。

導入

セキュリティ専門家でなくても扱える上、外部ベンダーの診断と同等の品質も評価

導入の背景

- 1 診断開始までの工数が少なく、UI含めて誰でも使いやすい
- 2 OWASPなど業界標準の脆弱性をカバーしており、外注と同等の診断ができる
- 3 専門家でなくても、レポートを見れば問題点と必要な対策が理解できる

診断の内製化にあたり、複数ツールをトライアル導入して比較検討。セキュリティの専門家でなくても扱えることや診断品質、レポートのわかりやすさや、画面遷移図で巡回が抜け漏れなく行われているか見えることなどが決め手となり導入。

効果

約3割の診断コスト削減を実現。診断頻度も増やすことができ、セキュリティレベルがアップ。

具体的な効果

- 1 シナリオ作成も1日かからず終わられ、1週間以内には診断開始まで実行できる
- 2 コスト・時間が削減できただけでなく、開発サイドのセキュリティ意識も向上
- 3 従量課金ではないので、今後診断対象の増加に伴いコストメリットも増えると実感

以前までは診断開始までに長いと1か月ほど時間を要していたが、コストを削減しながらスピード感のある診断が実現できるようになった。緊急度の高い脆弱性が見つかった際にはすぐ改修を依頼できるなど、セキュリティレベルの向上につながっている。

生成AI時代の脆弱性診断なら AeyeScan

クラウド型Webアプリケーション
脆弱性検査ツール

国内市場シェア

No.1※

※富士キメラ総研調べ「2023ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 市場編」
(Webアプリケーション脆弱性検査ツール(クラウド)2022年度実績)

※ITR調べ「ITR Market View：サイバー・セキュリティ対策市場2024」SaaS型
Webアプリケーション脆弱性管理市場：ベンダー別売上金額シェア (2022年度実績)

有償契約
200社以上



AeyeScanが選ばれている理由



誰でもかんたん操作



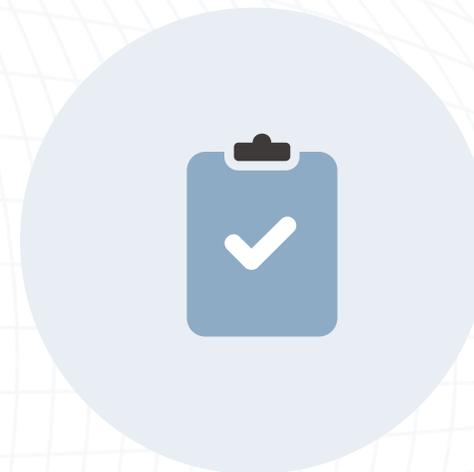
開発やセキュリティの知識がなくても、
トレーニングなしで診断可能。



AIによる自動診断



圧倒的な巡回精度で
24時間自動で診断。
画面遷移図で状況を可視化。



わかりやすいレポート



各種ガイドラインに準拠した
プロ仕様のレポート出力、
日本語と英語に対応。

| AeyeScanが選ばれている理由

プロが認める機能・性能

×

誰でも使える操作性

生成AIの活用による高度な自動化を実現

オプション機能

1 診断設定がさらにカンタンに

- ・フリーフォーマットでの指示



特許 第7320211号

2 巡回がより柔軟に進化

- ・多言語対応
- ・フリーフォーマットでの指示
- ・画面の自動類似判定



特許 第7348698号

4 高度なレポート出力も可能に

- ・診断結果を元に総評を生成

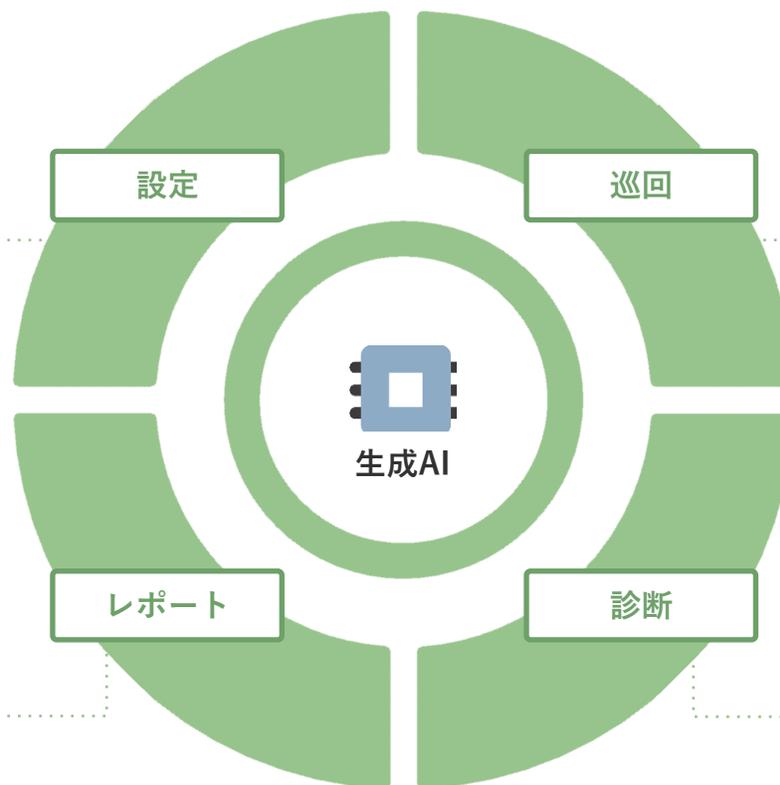


3 手動で診断していた項目にも対応

- ・パラメータの用途を推測
- ・セッションIDの規則性を解析



特許 第7344614号



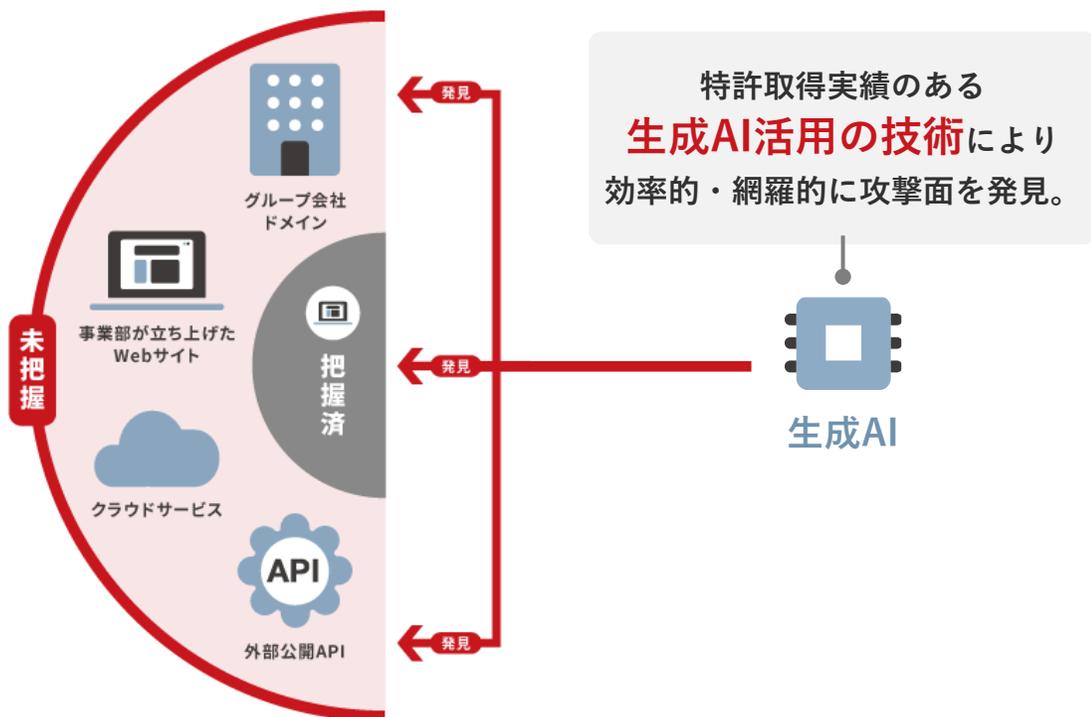
生成AI活用で、工数をかけずにWeb-ASMを実現

オプション機能

Web-ASMとは？

未把握な攻撃面の継続的な発見・リスク評価※

※リスク評価：AeyeScanのスク্যানによる



Web-ASMの実施ステップ

1

攻撃面の
発見



Web-ASM機能

自社が保有している
ドメイン一覧を抽出

2

攻撃面の
情報収集



自動巡回

未把握のドメインを
巡回対象に追加

3

攻撃面の
リスク評価



脆弱性診断

管理対象の全ドメインに
脆弱性診断を実施

AeyeScanひとつで、

より網羅的な脆弱性診断とリスクマネジメントが可能に！



期間
限定

Web-ASM機能オプション 利用料金50%OFFキャンペーン

内容

Web-ASM機能オプション利用料金を初回契約分50%OFFでご提供いたします。

適用対象

- 2025年3月31日(月)までに株式会社エーアイセキュリティラボにご発注いただいたものが対象です。
- AeyeScan Businessライセンスをご契約中または2025年3月31日(月)までに新規で利用開始いただいていることが前提となります。

申込方法

「Web-ASM機能」お問い合わせフォームまたは弊社担当までご相談ください。

▶ お問い合わせフォームはこちら <https://www.aeyescan.jp/form/web-asm/>

AeyeScanの導入を検討してみませんか？

操作性の確認、実際に利用してみたい方へ

AeyeScan の 無料トライアル

トライアルにかかる費用は不要。実際の操作性はどうか？
またどのように脆弱性が発見されるのか？
などの疑問は無料トライアルで解消しましょう。

無料トライアルの申し込み



お見積りの希望・導入をご検討している方へ

AeyeScan への お問い合わせ

お見積りの希望・導入をご検討してくださっている方は
お問い合わせフォームよりご連絡ください。
当日もしくは遅くとも翌営業日にはご連絡を差し上げます。

お問い合わせフォーム





AeyeScan

セキュリティに、確かな答えを。